



鋸南町社協だより



第187号 令和元年6月20日

発行 社会福祉法人 鋸南町社会福祉協議会
住所 〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田560
電話 0470-50-1174
HPアドレス kyonan-shakyo.jp

令和元年度 事業計画・予算 /

基本方針

少子高齢化の進行が著しく、高齢化率が46%を超えた鋸南町においては、地域での支え合い助け合いの重要性は益々高まると考えられ、社会福祉法において地域福祉推進の中核として位置づけられている社会福祉協議会が地域で求められる役割は、さらに多様化、複雑化してくることが想定される。

鋸南町社会福祉協議会としては、地域が抱える様々な問題に真摯に向き合い、地域住民を始め、福祉、保健、医療等の関係諸機関との連携を密にし、各種地域福祉事業や介護保険事業などを適正に実施することで、「我が事・丸ごと」の地域ぐるみ福祉の実現を目指す。

特に、これから地域福祉には欠かせない生活支援体制整備事業、総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）、また、日常生活自立支援事業を中心とする成年後見に関する事業には今まで以上に積極的に取り組み、社会福祉協議会の存在意義を明確にするとともに、地域住民の福祉への関心を高め、地域福祉推進の指標となる地域福祉活動計画の策定準備を進める。

また、職員の積極的な研修への参加促進や資格取得の支援を行い、よりレベルの高い専門職を育成することで、法人運営体制の充実を図る。

事業内容

I 法人運営

地域福祉を推進する社会福祉法人として活発に活動できるよう、先駆的かつ柔軟な組織運営に努める。

1. 理事会、評議員会等の開催

II 社会福祉の啓発

社会福祉協議会の存在意義、活動を内外に明らかにし、地域における社会福祉の啓発を図る。

1. 鋸南町社協だより「ふくし」の発行
2. ホームページの充実
3. 第31回鋸南町社会福祉大会の開催

III 地域福祉の推進

地域の課題を把握し、その課題を地域住民とともに解決するための方法を提案、実現させ、誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができる鋸南町の実現を目指す。

1. 社協支部活動の支援
2. 各種資金の貸付
3. 心配ごと相談所の開設
4. 無料弁護士相談の実施
5. 福祉教育の推進
6. 「声の広報」事業
7. 福祉車両の無料貸出事業
8. 福祉有償運送事業
9. ボランティア活動の推進
10. 生活支援体制整備事業及び総合事業の推進
11. 介護予防と生きがいづくり事業
12. 日常生活自立支援事業
13. 共同募金運動
14. 福祉団体の事務局

IV 在宅福祉サービスの推進

介護保険事業を軸とし、在宅での生活継続を支援する体制を整える。

1. 福祉器具の無料貸与事業
2. 配食サービス事業
3. 介護予防高齢者施策事業（鋸南町委託）
4. 鋸南町デイサービスセンターの管理経営（指定管理者）
5. 訪問介護事業
6. 居宅介護支援事業



支部社協の活動の様子

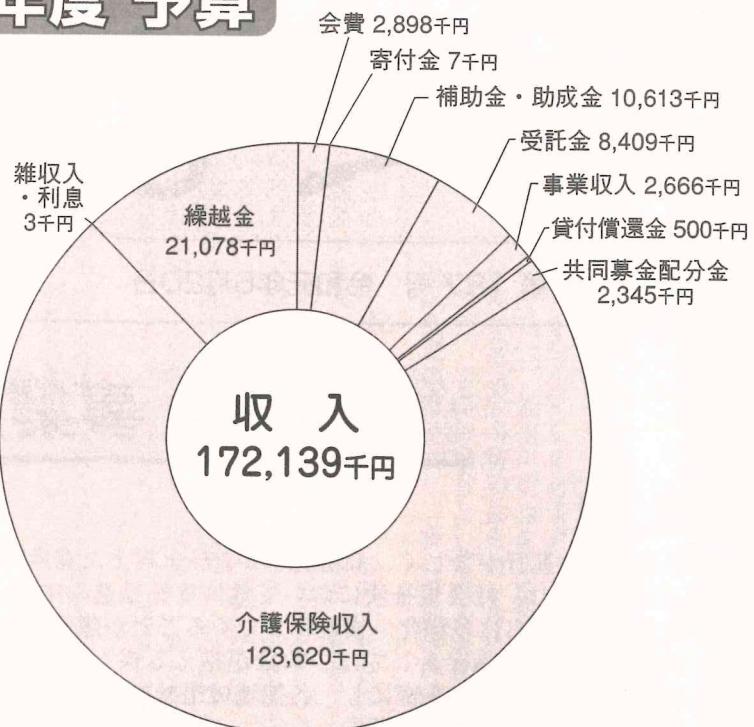
令和元年度 予算

収入

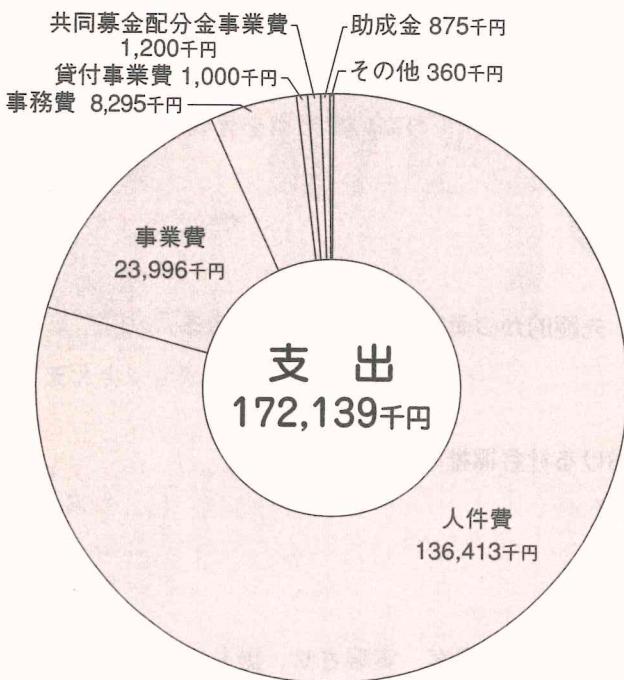
地域福祉推進の貴重な財源として町民の皆さんからの会費、289万円余りを計上しております。会費は、福祉有償運送事業や各種ボランティア事業等、地域での支え合い・助け合いの事業に活用させていただきます。

収入総額の71.8%を占める、およそ1億2千3百万円が介護保険収入で、ホームヘルプサービス事業やデイサービス事業、居宅介護支援事業の介護報酬等で、ほぼ前年度並みの収入を見込んでいます。

補助金・助成金のおよそ1千万円は、主に鋸南町からの補助金です。地域福祉に係る人件費の他、社会福祉大会の開催、ふれあい・いきいきサロン、配食サービス等、各種地域福祉事業を実施する財源としています。



支出



「めばえ歌謡教室」より 多額のご寄付をいただきました

4月21日（日）に「第37回めばえ歌謡教室交流発表会」が、南総文化ホールで行われました。

この発表会は、チャリティーを目的の一つとして掲げ、参加者、来場者が楽しみながら地域に寄与しているイベントです。

毎年、鋸南町社会福祉協議会には多額のご寄付をいただいており、今回もステージ上で高名代表から中山会長に目録が手渡されました。

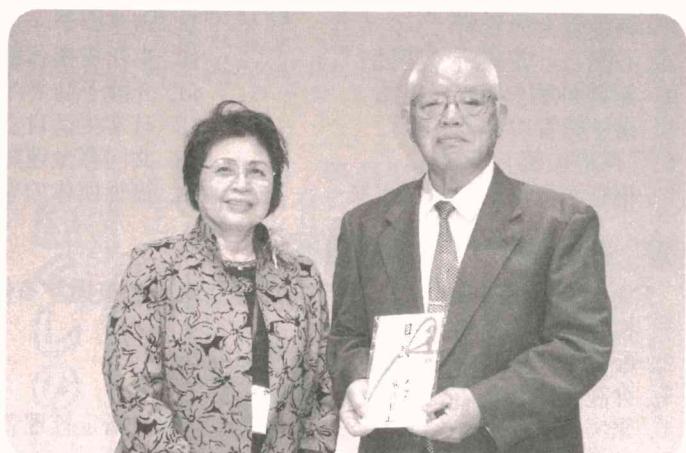
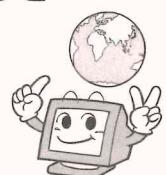
ご寄付いただいた55,508円は、地域福祉推進のため有効に使わせていただきます。

ありがとうございました。

鋸南町社協 ホームページのお知らせ

鋸南町社会福祉協議会の情報を紹介しています。

【ホームページアドレス】
kyonan-shakyo.jp



高名代表（左）と中山会長

～地域での支え合いのために～ 「生活支援センター養成研修」を開催します

現在、全国的に少子高齢化が進んでいますが、団塊の世代が75歳以上になる2025年には、独居高齢者世帯、高齢者夫婦のみの世帯、要介護認定者、認知症高齢者などは増加する一方、介護の担い手は不足することが懸念されています。

このような時代の流れの中では、社会保障制度の主軸である介護保険制度も大きく見直しがされ、軽度の認定の方（要支援1、2及び要介護1、2）は、ホームヘルパーによる生活援助サービス（掃除、洗濯、調理など）が受けられなくなることが、現時点では想定されています。

このような事態に対応するため、鋸南町社会福祉協議会では、鋸南町からの委託を受け、軽度の方への生活援助を地域の方達でお手伝いしていただく体制づくりを進めています。

今回、その担い手として活躍してもらう「生活支援センター」を養成するための研修を以下の通り開催します。

ほんの少しの手助けがあれば、地域での生活を続けられる方が大勢います。

自分の余裕のある時間だけの活動で構いませんので、あなたのお力を是非お貸し下さい。

1. 日 時 8月22日(木)、27日(火)両日とも9:30~16:30

2. 場 所 鋸南町ボランティアセンター

3. 対象者 本講座に関心のある方

4. 内 容 生活支援センターの活動に必用な技術を講義と実技により習得する。

○介護保険制度の概要、高齢者の特徴と対応、コミュニケーション技術、家事援助技術など

5. 参加費 無料

6. 申込み 8月9日(金)までに社会福祉協議会にお電話下さい。電話 (0470) 50-1174

7. その他 「生活支援センター」は、時間に応じて活動協力金を支払う有償の住民ボランティア活動です。

～ボランティア連絡協議会～ 定期総会・研修会を実施

現在、鋸南町社会福祉協議会には、217名の方がボランティアとして登録して下さっています。

その活動も様々で、送迎サービスや配食サービスのお手伝い、施設やイベントでの演芸系の活動、子育て支援や障害者支援、サロン活動のお手伝いなど、バラエティーに富んでおり、町内外を問わず精力的に活動しています。

また、登録ボランティアの方々で「鋸南町ボランティア連絡協議会」を結成し、ボランティア間の情報交換や親睦交流なども行っています。

その「ボランティア連絡協議会」の定期総会が、4月25日(木)に鋸南町ボランティアセンターにおいて開催されました。

総会には25名の会員が出席し、平成30年度事業報告並びに決算、令和元年度事業計画並びに予算、役員の改選について審議され、全議案が原案通り可決されました。

総会終了後は、わたなべ儀兵衛法務事務所の行政書士 渡邊儀兵衛氏を講師にお迎えし、『振り込め詐欺防止&撃退法』と『大震災発生時の生き延びる知識と知恵』をテーマとした研修会を開催しました。

渡邊氏は『房総の若大将』の異名を持ち、マジックや大正琴などを駆使しながら、ユーモアたっぷりにお話しさされました。

参加者からは、「とても楽しい講演で、あつという間の1時間でしたが、とてもためになりました。」「防犯、防災は地域コミュニティづくりの一つの手段になるのではないかと考えています。この講演をきっかけに、地域での活動をもっと充実させていきたいです。」などといった感想が聞かれました。

この研修をきっかけに、ボランティア連絡協議会の活動がより一層活発になり、鋸南町の地域福祉がますます充実したものになるよう、二人三脚で頑張りたいと思います。



大変賑やかな研修となりました

網代やすお音楽事務所主催チャリティー 「歌謡の集い」からもご寄付をいただきました

6月2日(日)に鋸南町立中央公民館で、網代やすお音楽事務所主催の「歌謡の集い」が開催されました。

この集いもチャリティーを目的の一つとして掲げており、会場に設置された募金箱には、来場者が“気持ち”として募金をしてくれました。

集められた募金は、毎年、鋸南町社会福祉協議会と千葉鋸南日本花の会に贈呈されており、今年は31,079円が社会福祉協議会に届けられました。

網代様は、支部社協が主催する「ふれあい・いきいきサロン」にボランティアとしてご出演下さるなど、日頃より地域福祉のためにご協力をいただいております。

ここに重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区懇話会を開催中です

知加る町丸人で合だ会を順次開催中です。これまでにとどまらず、各々の地区での独自の支援事業との意見交換の場とすべく、町内全地区で懇話会を開催中です。その支援合い活動推進について、町民の皆様に担つてもらうことが期待されています。これから地域福祉は、軽度の方の支援を地域の問題は、決して地域でない事でございません。そのためとも考えております。各地区毎のご案内は、回覧文書等でお

新会長に斎藤正氏を選出



任期満了に伴い新理事による初理事会が開催され、その席上で斎藤正氏（学識経験者）が新会長に選出されました。

斎藤氏は、鋸南町役場を退職後、鋸南町社会福祉協議会事務局長を11年務めた後、区長会長、学識経験者として鋸南町社会福祉協議会理事を歴任し、常に福祉の最前線で活躍してこられました。

斎藤氏は「加速度的に少子高齢化が進行している現代社会において、社会福祉協議会が地域に果たすべき役割は非常に重要であると認識している。とくに鋸南町は高齢化率が46%を超えており、介護保険事業はもとより、地域での支え合い・助け合いが地域存亡の鍵を握っていると言つても過言ではない。このような中で、鋸南町社会福祉協議会長に就任することは大変な重責であるが、自らに課せられた職務を全力で全うし、役職員一丸となつて、鋸南町の地域福祉推進に尽力していきたい。」と抱負を述べました。

なお、副会長には、黒川起志夫氏（民生委員・児童委員協議会）と重田修一氏（学識経験者）が選出されました。

奥山区『支え合い活動』が始まります



支え合い活動ボランティアのメンバー

地域での支え合い・助け合い活動の走りとして、奥山区において、区独自の取り組みとしての「支え合い活動」が発足しました。平成29年度に開催した地区懇親会をきっかけに、「地域住民の"ちょっととした困り事"を地域で何とかできないか」を考えるようになり、定期的に会合を開き、この度、6月12日に発足式を迎えるました。

「支え合い活動」を利用できるなは、原則として世帯全員が55歳以上の奥山区の方で、家具の移動、ゴミ捨て、電球交換など、日常生活上のちょっととした手助けを、30分500円で受けられます。お手伝いをしてくれるのは、奥山区民でボランティアとして名乗り出てくれた5名の方達です。代表の石田成明さんは「介護保険や既存のサービスでは対応できないことに困っている人がいる。そのような方達を、地域の仲間として"何とかしてあげたい"というみんなの気持ちを形にすることことができた。これから頑張って活動していきたい。」と抱負を語ってくれました。

篠原事務局長退任

『安房地域権利擁護センター』が開設されます（認知症や障害のある方のお手伝いをします）

この度、当社会福祉協議会の事務局長を務めておりました篠原一成氏が、平成31年3月末日を以て退任しました。

篠原氏は平成27年4月1日に事務局長に就任、4年間にわたり地域福祉に邁進してまいりました。

長年の尽力に心から感謝申し上げたいと思います。

なお、後任には、町内在住の増田光俊が就任しておりますので、変わらぬご指導を賜りますようお願いいたします。



鋸南町社会福祉協議会では、認知症高齢者や障害をお持ちの方など、判断能力が低下した方が、住み慣れた地域で自立した日常生活を送れるよう手伝いする事業として、日常生活自立支援事業を実施しています。

この事業では、社会福祉協議会と契約を結んで、日常的な金銭管理の援助、通帳や実印などの大切なものの預かり、福祉サービスの利用手続きの援助などを行っていますが、ある程度の判断能力及び契約締結能力が必要となります。

また、相続などの法律行為や詐欺などの違法な売買契約から身を守るという効力はありませんが、一般の方にはあります。そのため、成年後見制度が必要な方々や、判断能力が著しく不十分な方達を支える制度として成年後見制度がありますが、一般的ではないでしょうか。

そこで、成年後見制度や日常生活自立支援事業など、権利擁護に関する事業を効果的かつできるだけ簡単にご利用いただけるよう支援する中核機関として「安房地域権利擁護センター」が7月1日より開設されます。

「安房地域権利擁護センター」は、安房管内の3市1町から委託を受け、鴨川市社会福祉協議会が運営するもので、成年後見制度等に関する相談の受付や市民後見人の養成などの事業を実施します。

各市町及び各市町社会福祉協議会も連携を取りながら、安房管内の権利擁護事業を推進してまいりますので、お気軽にお活用下さい。

なお、『安房地域権利擁護センター』の活動を紹介するパンフレットは、7月以降、鋸南町社会福祉協議会のホームページに掲載しますので、ご覧になつて下さい。

ふくじの泉

次の方々から「福祉の充実と社会福祉協議会の円滑な運営のために役立ててください」とのお言葉を添えて、善意のご寄付をいただきました。皆様方のお心遣いに感謝申し上げます。

☆匿名 一五、〇〇〇円
☆保田 根本夏枝様 二、七五〇円
☆鋸南中学校三学年様 一二三円
☆(株)おどや様 七四〇円
☆匿名 四五、九〇二円
☆鋸南小学校六学年様 一二三円
☆舞花カラオケ愛好会様 八、九〇〇円
☆匿名 三〇〇、〇〇〇円
☆めばえ歌謡教室様 五五、五〇八円
☆網代彌壽雄様 三一、〇七九円